

科名 呼吸器内科

対象疾患名 PD-L1陽性の切除不能な進行・再発の非小細胞肺癌

プロトコール名 キイトルーダ

Rp	形態	ルート	薬品名	投与量	時刻・コメント	1	2	3	4	5	...	21
1	点滴注	メイン	生食	250mL	ルートキープ 残破棄可	↓						
2	点滴注	側管	キイトルーダ	200mg/body	30分かけて	↓						
			生食	100mL	専用ルート JY-PF340P52使用 投与前後生食フラッシュ							

★1クール=21日

～MEMO～

催吐レベル1(10%未満)

PD-L1発現はPD-L1IHC 22C3PharmDx「ダコ」にて検査すること

1次治療はPD-L1高発現(TPS $\geq$ 50%)、2次治療以降はPD-L1発現(TPS $\geq$ 1%)を確認。

本剤作用機序により、過度の免疫反応による副作用が現れることがある。発現した事象に応じた専門医と連携すること。

特に注意を要する副作用:間質性肺疾患、大腸炎、重度の下痢、肝炎、神経障害、副腎障害、重度の皮膚障害

infusion reaction、重症筋無力症、筋炎、1型糖尿病、甲状腺機能障害、腎障害、脳炎、静脈血栓症

インラインフィルター(0.2または0.22ミクロン)を使用し、投与前後に生食でフラッシュする。

Pembrolizumab versus Chemotherapy for PD-L1-Positive Non-Small-Cell Lung Cancer

N ENGL J MED October 9,2016

Pembrolizumab versus docetaxel for previously treated,PD-L1-positive,advanced non-small-cell lung cancer(KEYNOTE-010)

Lancet 2016;387:1540-50